

暑気払いを行いました！

毎年恒例の暑気払いを7月27日に行いました。はじめに、今回はイベント係の不手際と勝手な行動で皆さんにご迷惑ご心配おかけしてしまってますみませんでした。お叱り等々は真摯に受け止めます..です…(＞_＜) 夏の暑さが少しでも吹き飛ばす会になったなら幸いです…！



暑気払い、今年(紆余曲折ありましたが)バークュー！！小栗牧場からのホルモンと、お取り

寄せした魚介、お肉、熊谷先生の家庭菜園からのピーマン、研究室の卒業生西尾さんからお中元ビールなどがあつまり、賑やかなバーベキューとなりました☆



そしてなんと 言っても熊谷先生お手製の、鯉の手こね寿司！！ミョウガやシソが効いて



いてとっても美味しかったです！今回の珍事件といえば、お遣いでバターを頼まれた4回生N君が、「バター風味のマーガリン」を買って帰ってきたことですかね。畜産を学ぶ学生としてあるまじき失態としてみんなのヒンシュクを買っていました(笑) 愛されキャラなN君の愛すべき珍事件でしたね☆ホタテをマーガリンで食べたのは、後にも先にもあの時だけでしょう(笑)

この夏は暑さが厳しいですが、バテることなく元気に夏を楽しみましょう！！



ツバメの雛も大きく育ちました

目次：

| | |
|--|---|
| 広岡先生の随筆 ①児嶋君、糞を取る | 2 |
| 酒と泪と男とシャーマン ～イブの悲劇～ | 3 |
| 土用の丑の日 | 3 |
| 技術移転手法(PD法) | 4 |
| Mitarashi Matsuri at 4 Shimogamo Shrine | |
| 新しい羊が来ました | 4 |
| お知らせ | 5 |

ビアガーデンが暑い夏

「夏だ！プールだ！」と子供がプールに飛び込む目薬のCMがありますが、大人になるとどうせ浴びるなら水ではなくビールがいいと思うようです。そんなわけで、ビアガーデンに行ってきました。持ち物は会費と自力で帰れる程度の理性、会場はいつもどおりホリデー・イン屋上、面子はいつもどおりの畜資宴会部と道連れにされた遺伝育種の精鋭達、合計8名・・・とおもいきや会場には久米先生を筆頭に生体機構の面々が。開始後しばらくはそれぞれのグルー



プで飲んでいたので、その後は予想通り、入り乱れることに。飲んだり、騒いだり、何故か肩を揉まれたりしているうちに、終了時刻に。その後、有志は2次会に突入したようです。はくび会以外で他の研究室の人たちと飲むのも面白いですね。またやりましょう！ (うな)

6月中旬から始まった今年の梅雨は、ちょっと脅威を感じるほどの雨量でした。全国でもかなりの被害があったようです。祇園祭も雨でした(×)。7月18日に梅雨が明けてからは、一気に猛暑が押し寄せています。この暑さも例年より厳しい気がしますね。畜資にお引越してきた子羊たちは、モコモコした毛を着ていますが、夏バテなどせず、早く新しい環境に慣れて大きく育てほしいものです。

好評連載 広岡先生の随筆

①7 児嶋君、賞を取る



今回、システム農学会で児嶋君が発表賞を受賞した。学会で賞を受賞ことは、実力に加えて運が大きく作用するため、幸運の女神に愛されることが必要となる。例えば、そのとき彼よりも上手な発表があれば、彼は受賞できないであろうし、意地悪な質問が来て、それに答えられなかったら、ふつうは、賞は他の人に渡るであろう。以前にも言ったように、圧倒的に実力差があれば運の影響から逃れることができるが、そうでなければ受賞や、さらに言えば就職のための選考人事(大学では通常、選考は一



人)は、いつも運・不運に左右される。そのような中で、児嶋君が受賞したことは、大変うれしいことで、また彼の日頃の努力が、運を引き込み、幸運の女神の目にかなったのであろう。

よく、若者たちが、もう一步で幸運を逃した人を「おいしい。もう少しだったのに。残念だったね」と言って慰めている光景を目にする。この「おいしい」という日本語を手元の和英辞書で引いて見るとThat's a pityあるいはThat's too badと書いてある。これらの英語は、日本語の「おいしい」とはニュアンスが明らかに異なっている。

いまの若者を見ていて、よく思うことであるが、確実に「決めて」おかなければならないところで「決められず」に、チャンス逃しているケースが多い。落ちてくるチャンスをモノにすることは、ある意味、人生の成功のために最も重要な秘訣である。この「決められない」ことが、今の若者たちの最も大きな弱点であるように思えてならない。これは、日本のサッカーで、最後のゴールが決められないことと相通ずる気がしてならない。途中のパスまでは、世界クラスなのに、最後のゴールへのシュートは、大きく枠をはずす。それは、少ないチャンスを活かすことに劣った現在の日本人の姿そのものを映し出しているように思われる。

日本人は、もう一步でチャンスを逃した時、「おいしい」と言って慰められることに慣れている。しかし、英語のThat's a pityあるいはThat's too badには、本当にくやしく、悲壮感すらにじみでている。本来、チャンスをもう一步で逃したことは、大きな痛手で、絶対にしてはならないことなのである。チャンスはそう簡単にくるものではなく、その少ないチャンスを逃したことは、本当は悔しく悲しむべきことなのである。例えば、就職を逃した学生に、君は2位だったそうだとすると、喜ぶ学生が結構いるが、実は最も悔しがらるべきことなのである。もし、その選ばれた人間がいなければその学生が選ばれたことになり、結局、その選抜された人がいたために人生を大きく変えられてしまったことになる。受賞や人事などは、1人のみが選ばれることが一般で、2位以下はみんな同じで、負けである。

徒然草は、時代を超えた教訓書で、何度よんでもその時々ではっと新しいことを気づかされることがある。その92段で、

ある人、弓射ることを習ふに、諸矢をたばさみて的に向かふ。師のいわく、「初心の人、二つの矢を持つ事無かれ。のちの矢を頼みて、初めの矢になほざりの心あり。毎度ただ損失無く、この一矢に定むべしと思へ。」と言ふ。わづかに二つの矢、師の前にて一つをおろかにせんと思はんや。懈怠の心、みづから知らずといへども、師これを知る。このいましめ、万事にわたるべし。

昔の日本人は武士ならば真剣勝負を行い、負ければ命を落としていた。そのような緊張感が常に勝負にはつき物である。これは武芸一般にも通ずることである。

よく、昇進や受賞のために研究を行っている人がいるが、そのようなものは後からついてくるものである。決してそれを目的にすべきではない。しかし、運よく、昇進や受賞の機会の恵まれたときには、全力で成功を目指して対応すべきである。昇進や受賞は結果だと言いたいのが、実は、そのプロセスでは多くの駆け引きがあるものである。その駆け引きを制することもまた重要なことである。児嶋君は発表の直前まで練習をしていたと聞く。直前まで、チャンスを逃さぬように努力する。その努力が幸運の女神はお好きなようである。いつも同じ調子で「そこそこ」をめざして生きている多くの若者は、真剣に集中力をもって一所懸命に対処すべき局面で、努力を怠り、そのままチャンスを逃してしまうことになる。

一所懸命と書くべきところを一生懸命としている文章があるが、よく考えてみると一生懸命に生きるよりも、ある一時点で懸命に対応することの方が実は重要なかもしれない。すなわち、一所懸命を一生懸命と用いた時から、重要な教訓を日本人は忘れてしまったのかもしれない。昔の人の言葉は、実に奥深いものである。

広岡博之

酒と泪と男とシャーマン ～イブの悲劇～ 第1部前編

皆さんは霊などの目に見えない力の存在を信じますか？

世界では「魔術・呪術」なるものが未だ現地で生活している人々の精神生活の一部として深く根付いています。

2部構成ということで、今回はアフリカのマラウイという小さな国でのお話。

クリスマスイブの夜、近所の国連職員の家で小さなパーティーが行われた帰り、家の玄関の鍵を開けようとドアに手をかけると、閉めていたはずの鍵が開いていた。かけ忘れたのだろうか、家に入り、冷えていないビールを取り出す。私は毎晩、その日に撮った写真のデータをパソコンに移している。その日もいつも通りデータを移そうとデジカメを用意したがパソコンがないことに気がついた。

ん？

机の上には外付けHDD、アダプターとマウスがあるだけで、肝心な本体がない。部屋が荒らされた様子はなく、パソコンだけが消えていた。

泥棒？

まさか。

でもPCないね。。

とりあえず警察、職場に連絡し現場検証が始まった。鍵が壊されていないこと、他のものには手をつけていないことから犯人は内部犯であることは確実。家の鍵は屋間に雇っているガードマンに渡しているだけ。さあ警察よ、奴の指紋を取って突きつけろ！ そう思ってわくわくしていたのだが、程なく警察は帰る支度を始めた。

「あの、指紋とかは？」

「そんなのは取らない！」

「いやいやマウス外す時に指紋が絶対ついてるって！」

「何かあったら連絡ください。」

「もうその何かがあったんですが…」

無常にも、面倒くさいことが嫌いなお巡りさんたちはメリークリスマスと言い残し、とっとと帰ってしまった。困っている姿を見かねた近所のおじさん、私にシャーマンなるものの存在を教えてくれた。話しによるとシャーマンとは独自の手法で数々の病人を治療したり、また物を失くしたときに相談すると見事に解決してくれるというとても便利な人らしい。アフリカ版ドラえもん的存在か。

ということで、おじさんが紹介してくれたシャーマンと呼ぶことに。翌日、おじさんに連れられて家にシャーマンがやってきた。薄汚れたシャツにズボン、どうみても普通のおっさんだ。とりあえず、意思疎通を試みた。

「You are happy, I'm happy.」

どうやら英語はあんまり話せないようだ。パソコンのあった場所へ連れて行き、紹介してくれたおじさんに通訳してもらいながらシャーマンに状況を伝える。その間シャーマンは難しい顔を崩さなかった。説明が終わっても数分間目をつぶったまま。

…

…



…次回へ続く(さかい)

第14回AAAP

8月23-27日に、Asian-Australasian Association of Animal Production Societies (AAAP; アジア・大洋州畜産学会議)が台湾の屏東市で開催されます。今回のテーマは「残留農薬のない、環境にやさしく、動物愛護と管理に基づいた高品質な畜産物生産のための農家支援」ということで、当研究室からも4題の発表を予定しています。

第9回WCGALP

8月1-6日に、World Congress on Genetic Applied to Livestock Production (WCGALP; 世界応用動物遺伝学会)がドイツのライプツィヒで開催されます。当研究室からは、広岡先生が発表される予定です。

土用の丑の日

7月26日は土用の丑の日でしたね！ ところでこの土用の丑の日、鰻を食べるのが習慣になっていますが、もともと江戸時代までは頭に「う」の付くものなら何でもよかったそうです。「うに」でも「うり」でも「ういろう」でもよかったんですね。当時、夏に売れないという問題を何とかしたいと思った鰻屋が平賀源内に相談を持ちかけたところ、土用の丑の日に鰻を売れることをアドバイスされ、どんどんと周りの鰻屋に広まっていった、という説が有力だそうです。今で言うところのマー

ケティングですね。平賀源内はコピーライターといたところでしょうか。

鰻はビタミン豊富で栄養満点なので、土用の丑の日に鰻を食べるのは理にかなっていますよね。皆さん食べられましたか？

私は結局食べずじまいでした…

来年こそは。



水泳部発足！
プールの学内者一般開放を受けて、畜産資源水泳部が発足、8月5日より活動を始めました。活動時間は開放日のお昼ごろです。水泳帽を忘れずに！

新しい羊が来ました

7月30日、六甲山牧場まで羊を買いにいってきました。今年2月に生まれたかわいい羊が4頭、畜舎に仲間入りすることになりました。口蹄疫も落ち着き、牧場は2日前から営業を再開したとのことで観光客が結構来ていてにぎやかな感じでした。トラブルもなく無事に連れて帰ることができたのですが、帰りの車内、後ろで鳴いている羊を見るとドナドナがどこからか聞こえてくるようになんか切ない気持ちになりました…あの子たちが早く新居になじめるよう、みんなかわいがって世話してあげてください！

(あんざい)



羊の名前公募

畜産資源では、今回新しく導入した4頭を含め、合計7頭の羊の名前を募集中です。応募希望の方は、羊の番号と名前を明記の上、<yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp>までご応募ください！募集期間は、8月31日までです。皆様からの応募を楽しみにしています～♪

山羊係り

技術移転手法(PD法)

7月中旬、(独)家畜改良センターで、海外研修員を対象に、「PD法による普及マニュアル作成」という講義を行ってきました。山羊関係以外の私のもちネタの中では、毎回ご好評いただいている講義なので、ちょっとご紹介しようと思います。

「PD法」の語源は、Process Description(過程記述)なのですが、開発者の(独)国際協力機構所属の国際協力専門員の方は、技術移転手法と定義されています。この中で私が講義・実習として行う内容は、写真と絵を利用した技術普及マニュアルの作成方法です。具体的には、一連の技術をいくつかのステップに分け、ひとつのステップに1枚の写真と簡単な説明書きを加えて、マニュアルを作成します。また、同じ写真と説明を利用してパワーポイントを作成し、プレゼンテーションに用います。さらに写真をトレースして絵画調に仕上げ、ポスターや配布用のパンフレットに応用します。この技術の利点は、誰でも簡単にマニュアルを作ることができること、一度にマニュアル・パ

ワーポイント・ポスター・パンフレットの4つの普及ツールの作成ができること、マニュアル作成を通じて、技術がきちんと移転されているかどうかを確認することができることなどが挙げられます。昨年のアフリカ人のための山羊研修では、研修員がそれぞれ2つずつのマニュアルを作成したので、18個のマニュアルをみんなで共有することができました。

畜産資源のホームページの、Goat Bulletinが掲載されているサイト下段にある「山羊の去勢術マニュアル」もこの方法を利用して作成したものです(もう4年も前のことですが^^;)実習などで体験した技術は「思い出」となってしまうのですが、形に残す方法としても最適なPD法、機会があれば是非お試しください♪



PD法で作成したパワーポイントで技術の紹介を行う研修員

(ようこ)

Mitarashi Matsuri at Shimogamo Shrine (御手洗祭り)

Mitarashi matsuri (Foot-bathing festival) is a festival was held every summer on July every year at Shimogamo shrine. This year on July 26, me, Yoko san and Takeuchi san went to this festival and we enjoyed the ceremony there. Soak feet into cool water while carrying a small candle in one hand and shoes in the other and walked into beautiful and clear pond then light a candle and leaving it on a special tiered near the pond and pray to the God. During this festival hundreds of people flock to the pond and



they believe that if wash their feet in this pond they will bless by god and also protecting against plague and misfortune. And one thing, only during this festival people are allowed to step into the pond deity water of the shrine. After wading out, we are also invited to drink purified water which is believe to ensure a summer health and vitality. Then we enjoyed to eat "mitarashi dango", sticky rice balls covered in sweet sauce in the mitarashi dango shop was open in a stall in the shrine forest. As with many festival, food and game stall line in the walkway to the shrine. I'm really enjoyed this festival.

(Cici)

Department of Animal Husbandry
Resources, Kyoto University,
Faculty of Agriculture
Oiwakekyo, Kitashirakawa,
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365

FAX 075(753)6365

http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN



GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で
成り立っています。形式・文字数は問いません。
また、読者の方々からのご意見やお問合わせも大歓迎です。下記のアドレスまでどしどし
送信してください。

E-mail: yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp

お知らせ

今月のゼミ

夏季休暇中につき今月のゼミは、ありません。

ゼミ係り

宮崎県で発生した口蹄疫の影響を受け、今年10月に予定されていた「第13回全国山羊サミットin沖縄」が開催中止となりました。

♪お中元が届きました♪

先輩方から、今年もお中元を頂きました。安松谷先輩からは大阪のひんやり菓子詰め合わせ、長命さんからは電動かき氷機、西尾君からはエビスビール詰め合わせを贈っていただきました。ありがとうございます！

研究室の動向

広岡先生がWCGALP（世界家畜生産応用遺伝学会議）に出席されるため、7月31日～8月8日まで、ドイツへ出張中です。イクバルさん（OM）は、6月12日から8月8日までの予定で、インドネシアへ一時帰国中です。柳君（M2）は、8月2～7日まで生態研で実験中です。大学院入試が8月17～19日の日程で行われ、畜産資源からは、B4の4名が受験する予定です。熊谷先生、酒井君（M2）、石田君（M1）、中川君（M1）は、AAAPでの発表のため、8月22～27日まで台湾（台南）へ出張予定です。このほか、夏休み中の帰省や旅行の予定もちらほら聞こえています。緊急時に備え、周囲の人に連絡先をきちんと伝えて、楽しく安全に過ごしましょう！

2010年 8月の飼育当番表

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------|----|-----------------|--------------------|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 竹内・中川(智) | → | | 塚原・スリタヤニ 羊の体重測定 | → | | |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| → | | 柳・稲垣 羊の体重測定 | | → | | |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| → | | 加藤・荒木 羊の体重測定 | | → | | |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| → | | 木村・安在 羊の体重測定 | | → | | |
| 29 | 30 | 31 | 9/1 | 2 | 3 | 4 |
| → | | | | | | |

編集後記 「伝える」ことは、意外と難しいものです。伝え手が10のことを伝えたくても、受け手にはその一部分しか伝わらない、または重要な部分が欠けている場合もありますし、逆に思った以上に伝わっている場合もあります。原因は、おそらく双方にあるのですが、こんな時、祖母がよく言っていた「聞き手の粗相は、言い手の粗相」という言葉を思い出します。日本語は、とかく婉曲(不明瞭?)な言い回しが多く、誤解が生じやすい言語だと思えます。端的でわかりやすく、素直な表現を心がけたいものです。